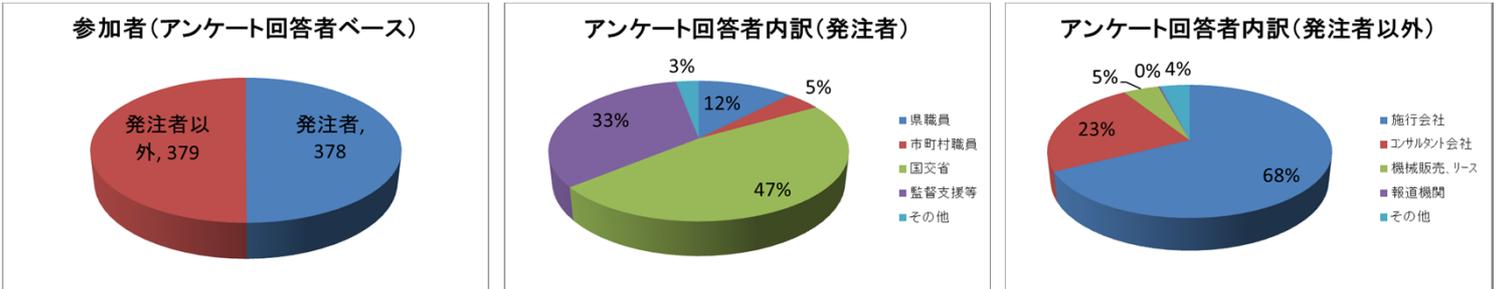


# 平成29年度『i-Construction』説明会を開催。

i-Constructionの普及促進を目的として、発注機関・施工業者・測量設計コンサルタントなどの現場従事者を対象に『i-Constructionセミナー』を実施しました。

平成29年度の説明会は、**6月26日から8月28日**の間、広島会場をかわきりに中国地方管内12会場において、「発注者向け」「受注者向け」の二部構成で開催し、参加者数は**約850人**でした。(内訳は、業界関係約400人、国交省以外に自治体約70人)



当日実施したアンケート調査結果(平成28年度と平成29年度の比較)は、以下のとおり。

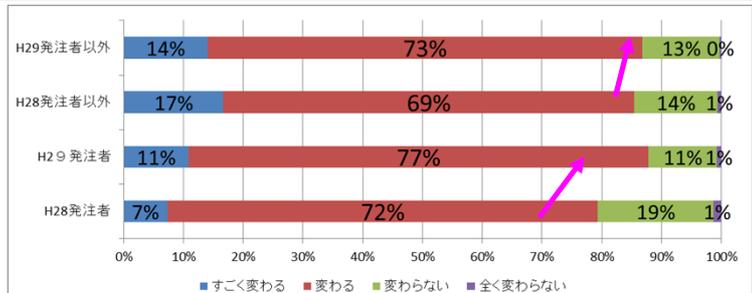
- ◆Q1: 土木工事へのICT土工導入によるイメージについては、『すごく変わる』と『変わる』が発注者(+9%)、発注者以外(+1%)ともに増加した。
- ◆Q2: ICTへの興味については、『すごく興味を持った』と『少しは興味を持った』が発注者(+2%)では微増、発注者以外(±0%)では変化無し。
- ◆Q3: 導入のメリットを感じたかについては、『すごく感じた』と『感じた』が発注者(+9%)、発注者以外(+3%)ともに増加した。

いずれのアンケート調査結果においても、8割以上の参加者が、土工のイメージが変わる、ICT工事に興味を持ち、導入するメリットを感じている結果となった。

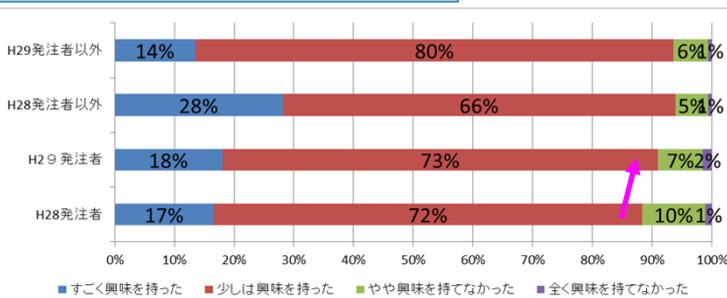
なお、当日頂いた意見等は、中国地方整備局HPにて回答を掲載する予定です。



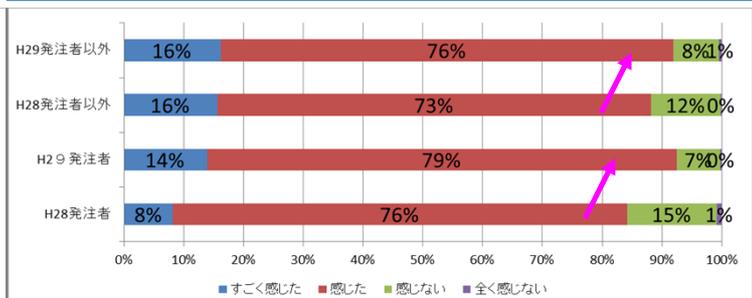
Q1: 土木工事へICT土工導入によりイメージが変わると思いますか？



Q2: 『ICT』に興味を持ちましたか？



Q3: i-Construction の取り組みを導入するメリットを感じますか？



## 主な意見

- ・一連の作業を一通りやってみないと分からない内容であり実務経験があれば理解できると思った。
- ・失敗した例や、進めていく中でトラブルや注意が必要な事なども教えて欲しい。また、メリットばかりがクローズアップされて、デメリットの部分が分かりにくいので、その辺も教えてほしい
- ・3D設計データのフロントローディングの推進でi-Conの義務化を促進して欲しい。
- ・アナログからデジタルにかわった程度でより複雑になり高年者(年配者)には困難と感じた。
- ・若手技術者も高度な知識を必要とし、特定の業者へ外注が必要で経費が多大となる。また機器も高価。